

独創性を追求する

株式会社 サイユーキ

独創性を追求するものづくり

株式会社サイユーキは、道路や鉄道など主に
インフラ建設用の機械、機材、装置の製造と
レンタルを行います。高い技術力と独創性で、
小さな部品から大型装置までほぼすべてのもの
づくりを自社で完結できるのが強みです。



事業内容

第一事業部	下水道工事の機材製作・レンタル トンネル工事機材製作 新幹線防音壁支柱製作
第二事業部	HEP & JES工法用機材の製作・整備・レンタル COMPASS工法用機材の製作・整備・レンタル 鉄骨一次加工
第三事業部	一般鋼構造物製作
生産管理部	工場生産管理・品質管理
営業エリア	北海道・東北・関東・北陸・中部・東海



01 工場溶接

小林 世^{せい}さん

2020年入社 製作担当
宮城県富谷市出身
石巻高等技術専門学校卒業

地域に役立つ仕事に誇り 技術を磨き成長を目指す

衝撃の出会い「この会社で働きたい！」

ヘルメットのようなマスクにグローブ、安全靴を身につけ、青白い火花を散らして溶接作業に集中する。夏にはまだ早いのに汗がしたり、暑そうだが「溶接が大好きなんです」と笑顔を見せた。

小林世さんが株式会社サイユーキと出会ったのは、高技専時代に出場した溶接競技大会だ。参加していた同社の職人の技術力の高さに衝撃

を受け「この会社で働く！」と決めたという。金属どうしを美しく頑丈につなぐ面白さから溶接に魅了され仕事に選んだが、働くことは甘くなかった。何度でもやり直しできる学生時代とは異なり、仕事でのミスや失敗は全体の作業効率を落とし迷惑をかける。「安全第一」を心がけていても、まだまだ視野が狭く目配りが足りない。先輩には事あるごとに注意される。「よく叱られるんですけど、何がダメだったかきちんと伝えてくれるから次から気を付けられるし、自分でも成長できていると思います」。危険と背

高校時代の勉強は思っている以上に大切で、社会に出てからも役に立ちます。面倒がらずにしっかり勉強しておく、後で「自分、よくやった！」と思えますよ。就活をするときは、本当にやりたい仕事なのか、受ける企業をよく知しましょう。見学にいった、職場や働いている人たちの雰囲気が自分に合うかどうか確かめることも大切です。僕は溶接が好きで、サイユーキの技術のすばらしさにほれ込んで入社したので、うまくいかないことがあっても乗り越えられる。今はとても楽しいです！



中合わせの職場だからこそ、先輩たちは厳しい。「でも、いつも『お前は才能がある。欲を出して頑張れ』って励まされます」とはにかむ。

先輩に学び、吸収し、溶接を究める

ものづくりの魅力を知ったのは小さい頃に遊んだブロックだ。思い描いたものを自分の手で形にすることが楽しかった。のめり込むうちに、大きな宇宙船などを設計図なしに作れるようになった。高校機械科と高技専で溶接の技術を身につけ、ものづくりを仕事にできたことがうれしい。

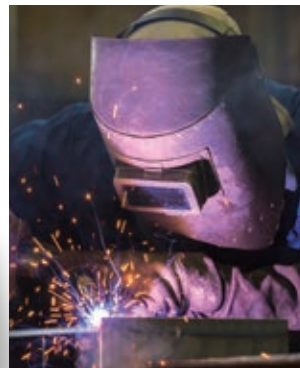
同社が手掛けるのは、主に鉄道や道路、トンネルなどの構造物や機材だ。多くの人を利用するインフラの建設や工事に、自分が携わった製品が使われることは「本当に誇らしいです！」と目を輝かせる。入社2年目、技術はまだ未熟だ。先輩の仕事を見ていると、速い上に確実にきれいで、しかも先の先までスケジュールを見通して作業をしている。今は憧れの段階だが、いつかあんなふうになりたい。

真剣な表情で鉄の柱に向き合う小林さんの様子を、先輩が見てきた。溶接した部分、サンダーで磨いた部分を一つ一つチェックし、自ら道具を持って見本を示し丁寧に指導する。「真面目な努力家だから放っておけなくてね。今は必死でついていって感じだけど、もう少ししたら自分で考えて動けるはず」。新人をみんなで育てることが、社の未来につながる。



1Day Schedule

- 8:30 ● 朝礼、ラジオ体操
- 8:40 ● 一日の作業の確認、道具の手入れ、溶接作業
- 10:00 ● 休憩 スマホで小説を読むのが好き
- 10:15 ● 作業続き
- 12:00 ● 昼食 食堂で母の手作り弁当
- 13:00 ● 溶接作業続き
- 15:00 ● 休憩
- 15:15 ● 作業の続き
- 17:15 ● 掃除 一日の作業内容、進捗状況をパソコンに入力
- 17:30 ● 片付け、終業





製作現場と心合わせ、
よりよいものづくりを

02 生産管理部

佐々木 あきら 陽さん

2014年入社 生産管理部 主任
宮城県大衡村出身
宮城県黒川高卒業

図面にお客様の
思いを載せて



03 営業

藤谷 たいじゅ 泰寿さん

2018年入社 第一事業部
宮城県大崎市出身
古川工業高卒業

製作の効率性を多面的にサポート

生産管理部の仕事は、製作過程を滞りなく効率よく進めるための進捗管理と、完成品の検査だ。佐々木陽さんは1年ほど営業を経験した後、異動した。

スムーズな製作のためには良い図面が不可欠。佐々木さんは上がってくる図面を細かくチェックし、改善できるところは直す。「ほんの些細なことも、積み重なれば大きな差が出ます」。製作が始まれば、納期とのスケジュール調整や材料の手配など、現場の作業が止まらないよう心を配る。

大事なのは現場との信頼関係

クライアントの要望に応えるため、または納期に間に合わせるため、現場に厳しい注文を伝えるなければならないこともある。だからこそ佐々木さんは、勤務時間の多くを工場で過ごす。できるだけ現場の様子を肌身で感じ、現場スタッフとの信頼関係を築き、相談しやすい雰囲気を作るためだ。「工場長から『佐々木君が言うなら何とでもやる』と言われたときうれしかった」という言葉に実感がこもる。

今の目標は「部下を一人前に育て上げること」。仕事のやり方だけでなく、心意気も伝えたいと思っている。

要望を聞き取り図面に表す

営業職といえば顧客開拓などの外回りをイメージするが、サイユキでは内勤が多い。お客様の要望を図面や見積もり書に落とし込み、それをもとにお客様と金額や使う材料、工法などを交渉するのが仕事だ。入社4年目の藤谷泰寿さんは「最初は用語や材料の名前が何一つ分からず、先輩の話も全然聞き取れなかった」と苦笑交りに振り返る。顧客の企業情報を調べたり、先輩や工場のスタッフに聞いたりして一つ一つ覚えていった。「新しいことを知るのはずごく面白い。学校の勉強は好きじゃなかったですけどね」。

「やり直し」繰り返して成長する

自社の技術力には絶対の自信を持っている。「溶接技術は宮城県トップレベルだし、多種多様な機械が揃っていて特殊な要望にも応えられるのが強み」と胸を張る。仕事には慣れたが、まだ描いた図面が戻されてやり直すことも。製品にも、工場の機械や材料、作業手順にも精通していなければ良い図面は引けない。「図面次第で作業効率や製作期間も変わる。勉強して経験を積み、もっと信頼されるよう成長したい」。伸び盛りのホープはやる気に満ちている。

30代になって転職しました。サイユキは工場が大きく、従業員の皆さんは心温かく親切。ここへ来てよかったです。学生時代は、不思議に思ったり疑問を感じたことを調べる癖をつけましょう。自分の世界がどんどん広がるし、その中からやりたい仕事が見つかることもありますよ。

1Day Schedule

- 8:30 朝礼
- 8:40 工場内の様子を確認、作業の指示出し
- 10:00 休憩
- 10:15 図面チェックなど事務作業
- 12:00 昼食
- 13:00 工場で作業指示、検査
- 15:00 休憩
- 15:15 チームでミーティング、検査、事務作業
- 17:30 翌日の作業の確認、終業

1Day Schedule

- 8:30 朝礼
- 8:40 メールチェック、その日の出荷の確認、図面・見積書作成
- 10:00 休憩
- 10:15 作業の続き
- 12:00 昼食
- 13:00 図面・見積書作成、工場の様子を見に行く、工場で材料の在庫を確認
- 15:00 休憩
- 15:15 作業の続き
- 17:30 翌日の出荷の確認、終業

学生時代に自分が本当にやりたいことを明確に分かっている人は、多くないと思います。僕も当時は将来像が見えていませんでしたが、今は仕事が面白い。大事なのは、入社してから自分の仕事に関心を持つことです。その心構えがあれば、どんな仕事に就いても充実した毎日を送れると思います。

平成30年度
第47回 宮城県溶接技術競技大会表彰式

匠の技術力！ 宮城県溶接技術競技大会で 2年連続優勝

溶接は製造現場に欠かせない技術。単に金属をつなぎ合わせればいいのではなく、用途によってさまざまな種類があり、危険を伴うため、一人前になるには深い知識と高い技術力が必要です。

鍛錬を積んだ溶接職人が一堂に会し、その技術を競う晴れ舞台が「宮城県溶接技術競技大会」。株式会社サイユキは過去10年連続で上位入賞者を輩出し、2018・2019年は2年続けて優勝にあたる最優秀賞を獲得しました（2020年は新型コロナウイルスの影響で中止）。さらに全国溶接技術競技大会でも入賞を果たしています。

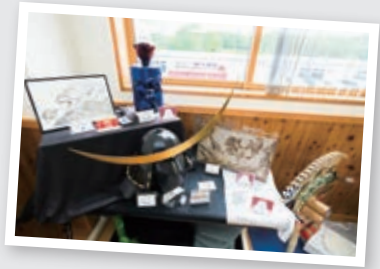
この実績は日頃の努力と互いに高め合う社風のためものです。今後も切磋琢磨しながらさらなる高みを目指し、お客様にご満足いただける品質を提供します。



TOPIC

アイデアと技で勝負！ 「作品コンテスト」

職人の獨創性を育て、年代を問わず活躍できる場を提供しようと4年に一度開かれる「作品コンテスト」。材料と道具は自由で、美術品のような精密な細工を施したオブジェ、ドリルの切りくずを活用したユニークな作品など、毎回多くの意欲作が出品される。社員同士が楽しみながら切磋琢磨するきっかけにもなっている。



会社概要

社 名 / 株式会社サイユキ

代 表 者 / 代表取締役 尾形 政則

本社所在地 / 〒 981-3501

宮城県黒川郡大郷町大松沢字原屋敷 41-1

TEL : 022-359-5578

FAX : 022-359-5575

設 立 / 平成4年4月17日

創 業 / 平成元年4月1日

資 本 金 / 2,500万円

従 業 員 数 / 45名

許 認 可 / クレーン製造許可宮基許第137・142号
(橋形・天井・テルハ 20t吊)

U R L / <http://www.saiyu-ki.co.jp>